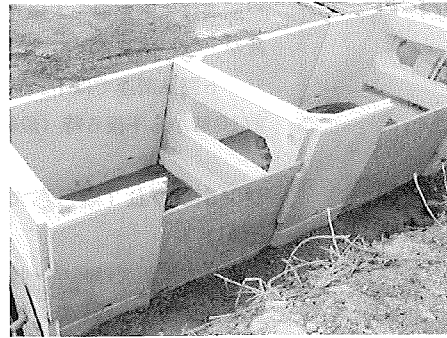


NETIS NEW FACE

アームロック ブロック背面の一部に型枠を使用した 擁壁ブロック

登録日2011. 11. 25 (登録番号CB-110037-A)

高見澤(本社, 長野県上高井郡小布施町雁田1262-13, 社長=高見澤秀茂氏)と共和コンクリート工業(本社, 北海道札幌市北区北8条西3-28, 社長=本間丈士氏)が開発したアームロックは、ブロック背面の一部を抜き型枠化(または残存型枠化)して軽量化を図った擁壁ブロック。



高さを伴う擁壁工事では勾配積みの大型ブロックで対応するのが一般的だが、ブロック背面にズレ防止のサポートが必要な他、使用するブロックの控えが長くなると製品重量が重くなり設置用クレーンの吊上げ荷重や作業半径に制限があるなど、施工性に課題があった。

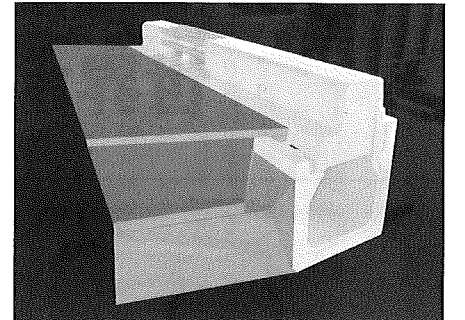
アームロックは水平積みでブロックが自立し、基礎断面が簡易な形状のため施工性に優れている。またブロック重量は従来製品と比較して約三分の一と軽量で搬入や現場での取り回しが容易、大型重機でなくても施工できる。専用の残存型枠(非腐食性バックアップボード)を使用すると、さらに施工性が向上する。なお、本製品は長野県限定製品。

問合せ先、高見澤・コンクリート事業本部、電話026-247-5711, FAX 026-247-5066。

NETIS NEW FACE

マルチフォームM側溝 クサビ固定式縁石一体型側溝

登録日2011. 12. 7 (登録番号QS-110031-A)



エムシー産業(本社, 佐賀県佐賀市八幡小路1-10, 社長=西博氏)のマルチフォームM側溝は、側溝本体と蓋の接合部に隙間(スリット)を保持したまま市販の樹脂製クサビで簡単かつ正確に縁石兼用蓋を固定し、スリット付(函)渠型側溝として使用する落蓋式側溝製品。

スリット縁石は蓋底面の凹形状部で連結して排出できるため、排水性舗装の施工に適している。蓋の底面に凹形状の集水口を設けたことで、スリットと連通して効率的に集水が行なえる。また縁石用の柵蓋(パイプ柵蓋)はスチール製で集水能力に優れている。蓋と歩車道境界ブロックが一体となっているので施工性に優れており、工期短縮とコスト削減が図れる。側溝本体は通常の側溝の他、自由勾配側溝も用意している。側溝蓋は歩車道境界ブロックや平蓋、グレーチング蓋など各種用意しており、用途に応じて選択できる。

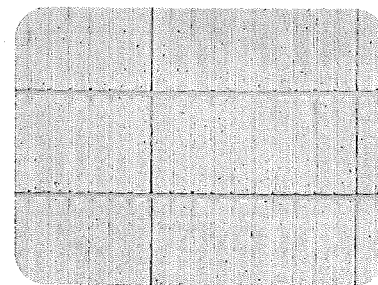
問合せ先、エムシー産業事業本部技術部、電話0954-26-9535, FAX 0954-26-9635。

150型追加で 商品力強化

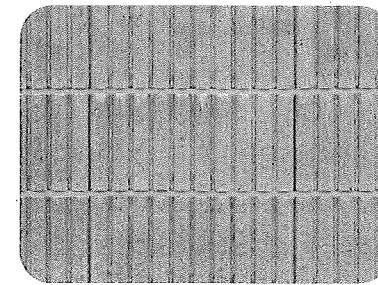
壁高2・2mまで対応

東洋工業(本社, 香川県高松市観光通1-1-1四, 社長=河田浩喜氏)は、昨年から発売を開始した化粧ブロック製品のL I K E(ライク)に150型を新たに追加して1月21日から発売を開始する。150型は、ブロック厚を150mmに拡大したもので、コンクリートブロック塀設計規準に基づいて壁高2・2m以下まで組積することが可能。

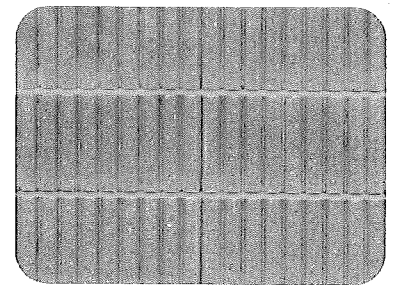
昨年から発売を開始したライクは、高品質とコストパフォーマンスを追求した製品として発売以来、高い人気を集めている新製品。化粧面のデザインは、スマート&ナチュラルをコンセプトに、割り肌調の9本のリブ模様とし、住宅外構などエクステリア空間を華やかに演出する。色彩は落ち着いた色合いのウォームブラックをはじめ、温かみのあるコテージブラウン、明るい色合いのナチュラルグレイの3色を用意した。形状は従来の120型と同様に、基本型とコーナーの2種類で片面仕上げ(裏面は割り肌無しのリブ)と両面仕上げを用意している。なお、ライクは西日本限定(長野南信地区・静岡から四国・中国まで)で販売する。



ナチュラルグレイ



コテージブラウン



ウォームブラック

水門製造施工の 開成工業を買収

ヤマウ

ヤマウ(本社, 福岡県福岡市早良区東入部五-1-1七, 社長=権藤勇夫氏)は12月26日、開成工業(本社, 熊本県熊本市植木町石川四五〇-1, 社長=鬼塚善嗣氏)の全株式を取得して子会社化することを決議し基本合意書を締結したと発表した。

開成工業の株式は同社代表取締役会長の谷富一昭氏が65・5%、同社の関係会社で機械製造加工の九州精工(本社, 開成工業と同じ)が34・5%を保有している。4月1日の株式譲渡日までに谷富氏が全株式を取得した上で、ヤマウが同社の全ての株式を谷富氏から取得する。開成工業は水門・堰の製造施工と保守が主たる事業で、九州を中心に全国展開を図っている。資本金は6000万円、平成23年8月期は年商7億2268億円、経常利益7543万円、当期利益3820万円を計上。

ヤマウでは開成工業の子会社化について、取扱品目は異なるものの両社は九州域内で共通の営業基盤を有している。このため営業情報の共有化による営業力強化をはじめ、開成工業が施工する港湾・河川の水門土木事業に関連するコンクリート製品の提案や製品の

共同開発を通じて既存事業とのシナジー効果が期待できるとしている。

安全優良職長の 厚労大臣顕彰

31日に式典開催

厚生労働省は10日、平成23年度の安全優良職長厚生労働大臣顕彰の受章者を発表した。

同顕彰制度は各事業所で作業員を直接指揮監督し、作業の安全確保・遂行に責任を持つ第一線の監督者(班長や作業長など)を表彰する制度。平成10年度より顕彰が行われている。

労働災害による被災者数が年間約48万人(平成21年度)にのぼる中で、高い安全意識を持ち適切な安全指導を実践する優秀な職長を顕彰することで、事業所や地域における安全活動の活性化を図るのがねらい。

今回で14回目となる今年度は全国で143名が大臣顕彰を受章。コンクリート製品関係では、ケイコン(京都府)の西田孝之氏や太平洋セメント・大船渡工場(岩手県)の鎌田貢氏、住友大阪セメント・岐阜工場(岐阜県)の福永幸生氏らが選ばれた。

受章式は今年3月1日、東京・霞ヶ関の中央合同庁舎5号館講堂で開催される平成23年あんぜんシンポジウムで行われる。